

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1 事業実施内容

モデル事業名	島ヶ原地区の林産資源を活かした木工体験ツアーの推進	
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠	
事業実施主体名	穂積製材所プロジェクト実行委員会	
事業概要	<p>※事業の概要が分かるように、100～150字程度で簡潔にまとめて記載してください。</p> <p>三重県伊賀市島ヶ原地区の製材所を拠点に都市住民を対象とした木工スクールを開設します。地域産材を活用した「木工体験」と、林業の現場で森林問題について学ぶツアーとしても展開します。地域産材製品（家具等）のブランディングや製品開発、そして地域の主婦グループと連携した木工作品以外の特産品の研究開発にもチャレンジしたいと考えています。</p>	
実施期間	平成 23 年度	平成 23 年 9 月 26 日から平成 24 年 3 月 31 日まで
	平成 24 年度	平成 24 年 4 月 3 日から平成 25 年 3 月 29 日まで
支援額 (注釈参照)	平成 23 年度	750,000 円 ※総額のみ記載してください。
	平成 24 年度	<p>※総額及びその内訳を記載してください。</p> <p>2,250,000 円</p> <p>【内訳】</p> <p>人件費：1,200,000 円</p> <p>諸謝金：321,690 円</p> <p>旅費：268,560 円</p> <p>消耗品費：400,374 円</p> <p>使用料及び会場借料：35,000 円</p> <p>募集広告費：197,955 円</p> <p>計画策定費：100,000 円</p> <p>※超過分については事業実施主体にて負担</p>
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	●協働事業参加組織	
	NPO 法人「伊賀・島ヶ原おかみさんの会」、島ヶ原木材工業有限会社、島ヶ原地域まちづくり協議会、株式会社 studio-L	
	●会議の実施状況	
	実施月日	会議の議題
	6 月 14 日	地域との今後の関わり方について
	8 月 3 日	協働事業参加組織との連携強化について
	9 月 14 日	9 月実施のイベントについての打合せ
	10 月 10 日	10 月実施のイベントについて
	11 月 13 日	現状の共有と今後について
	12 月 27 日	今年ふりかえりと来年の活動計画の共有
	2 月 1 日	次年度活動計画について
3 月 14 日	次年度活動計画について	
3 月 28 日	次年度活動計画について	

<p>事業内容</p>	<p>※事業内容、実施事項、実施方法、実施の分担(直接、委託、助成を含めて)等について記載してください。 ※委託・助成した団体等がある場合、当該団体名等について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製材所内の敷地整備 <ul style="list-style-type: none"> ①穂積製材所の敷地内に(株)studio-L との共同現場事務所を建設。近隣の大学生と地域住民との協働で建設作業を推進。5月12日竣工。 ②家具づくり体験ツアーの活動拠点として、同敷地内に木工工房を建設。 ・地域での木工製品販売、ワークショップ実施 <ul style="list-style-type: none"> ①2012年8月に「2012しまがはら夏まつり」にてブースを出展し木工製品を販売。 ②2012年9月、島ヶ原地域まちづくり協議会主催のお月見会にて、月見用の皿をつくるワークショップを実施。 ③2012年10月、おーきにまつり2012にて、木工ワークショップを実施。 ④2013年2月、島ヶ原小学校にて花台づくりワークショップを実施。 ・他地域でのワークショップ実施 <ul style="list-style-type: none"> ①2013年3月、近鉄百貨店主催の「縁活」にてカスタネットづくりワークショップを実施。 ・森林体験&木工体験ツアー実施 <ul style="list-style-type: none"> ①2012年9月16日(日)、17日(月・祝)に今年度1回目の木工体験ツアー(宿泊型)を実施。森林学習と木工体験を絡めた総合的な体験学習ツアーとした。 ・木工製品等の試作(20作品)、ブランディングの検討 <ul style="list-style-type: none"> ①来年度の本格事業展開に向け、木工製品の試作品を作り販売まで行う。今年度は20作品以上の作品をつくり、知見と経験を高めることができた。 ・地域住民への事業説明会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①地域主婦グループとの連携強化のため、「食」に関する木工製品の試作制作を検討。また、現場事務所の研修会場としての活用も積極的に受け入れ。 ・地域での研修会、交流会会場として現場事務所を活用 ・他団体との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ①地域主婦グループとの連携強化のため、「食」に関する木工製品の試作を数点制作。 ②大阪を拠点とする Co.to.hana と連携し、ワークショップやイベントで使用可能な屋台を設計・制作。 ③水都大阪2012出展者と協働し、「水辺のブランコ」の設計・制作をサポート ④佐賀のTシャツ制作会社とコラボし、展覧会を穂積製材所プロジェクト作成の「木製テント」にて実施予定(実施は2013年3月30日、31日)。 ・森林問題や林業の他の取組みについての研究、学習 <ul style="list-style-type: none"> ①地域で活動する森林施業NPOと連携し森林学習プログラムを検討。 ②地域の林業従事者と連携を取るためのネットワーク構築の仕組みについて検討。 <p>本事業に関するホームページのURL等がありましたら、ご記入ください。 http://www.hoz-pro.org/ https://www.facebook.com/hozpro</p>
<p>当初計画(採択時)からの変更点とその理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスタッフ説明会を地元住民への説明会へ変更 →運営スタッフの確保ではなく、地域住民からの協力を得ることを優先したため ・木工体験ツアーの実施時期を6月からではなく9月からへ変更 →宿泊スペースの気候条件を考慮し、気温の高い夏ではなく9月からの実施へ

	<ul style="list-style-type: none"> ・地元小学生向けの夏休み木工教室を夏休みから2月へ変更 →小学6年生の卒業記念制作へ変更したため。 ・他地域団体との連携強化 →発信力を高めるため、積極的に外部の団体とのコラボレーションを強化。また、地域外のイベントへも出向きネットワークを広げた。
<p>成果と課題</p>	<p>(成果)</p> <p><u>今後、島ヶ原地域で「林業資源を活かした木工体験ツアー」を本格的に実施するにあたり、次のような基盤を構築することができた。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>ツアーを受け入れる木工工房の完成</u> ・<u>ツアーで製作する試作品の目処</u> ・<u>日帰り、宿泊など、さまざまな形態のツアーをモデル的に実施したことで、ツアー実施に必要なノウハウを取得することができた。</u> <p><u>また、事業実施を通じて、以下のような成果や留意点などの気付きを得ることができた。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>都市住民と地域住民の橋渡しの場としての新しい公共の場の可能性を感じることができた。一方でプロジェクトの継続性を高めていくには近隣地域(伊賀市)での林業従事者によるネットワークの構築が必要であると感じた。</u> ・現場事務所を設けたことで、来訪だけでなく研修会会場としても活用され、それにより近隣地域の方々との交流の機会も増えた。 ・木工製品の試作品制作と販売に取り組んだことで、今後のブランディングや運営体系(価格設定など)についての検討材料を手に入れることができた。 ・気候によってツアーの参加者が変動することが予想され、ツアー時期について再考の必要があると感じている。また、宿泊型と日帰り型のツアーを柔軟に対応できる体制づくりが必要である。 ・公共の場としての性格を強めるためには、地域住民からの理解と認知度の向上をもっと目指す必要がある。<u>そのため、地域向け情報誌(がはらぼん)の制作に取り組みはじめた。</u>
<p>平成25年度以降の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木工体験ツアーの実施、運営 →定期的に木工体験ツアーを実施予定。森林問題についても学ぶことのできるプログラムでツアーを展開。季節ごとにプログラムを変更し、いつ来ても楽しんで頂けるツアーを目指す。 ・オリジナル製品の開発、販売(ブランディング) →「製材所ならではの家具づくり」をブランディングの柱とし、誰もが気軽に手作り家具づくりを楽しんでもらうことを目的とした商品開発とアイデア・環境の提供を目指す。 ・低所得者(主に若者)のための低価格住宅の設計 →若者が地域に入りやすくするため、低所得者でも建てられる住宅について検討。地域連携を目指し、地元の工務店との協働かつ地域産材を活用した住宅づくりを目指す。 ・地域活動団体との連携強化 →地域に愛されるプロジェクトを目指し、製材所の敷地を活用した各種ワークショップ・イベントを地域の活動団体の方々とは仕掛けていく。 ・活動団体とのネットワーク構築 →地域の各種団体に工房で活動を行ってもらえるよう、ヒアリングを通じて新しいネットワークを構築する。 ・林業従事者のネットワーク構築 →伊賀地域で活動している若手林業従事者による新しいネットワークを構築。定期的な会議を開催し、それぞれの課題を共有することで今後について検討する。 ・森林学習のためのマニュアルづくり →製材所の考える「森林学習」について、独特の視点によるマニュアルを制作予定。森林問題だけでなく、製材のプロセスや木工のポイントなど、森林に関するオリジナルの冊子にすべく検討。

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

2 成果の達成状況等

平成 24 年度に 達成しようと する成果	①定期的な(月1回)木工体験ツアーの本格的な展開により運営基盤を強化し、次年度以降の事業展開につなげる。 ②木工製品等(椅子、本棚、玩具など)の制作を本格展開し、一部は展示販売を進め、次年度以降の事業展開につなげる。			
具体的な指標 の達成状況等	項目	当初目標設定	平成 25 年 3 月末の達成状況	
	①木工体験ツアー参加組数	目標値(4回実施、合計12組) / 現状(2回実施、合計15組)	2回実施、合計15組が参加	
	②製材所全体の整備	目標値(工房の充実、道具のマニュアルづくり) / 現状(木工工房内の整備作業、工房壁面の制作1/4面と作業台の制作)	現場事務所建設、木工工房建設、運営マニュアル内容検討	
	③木工製品の制作	目標値(10製品) / 現状(試作2作品)	試作20作品以上制作	
	成果指標の達成状況			
	・木工体験ツアーについて →当初8月開始の予定だったが、気候を考慮に入れ、涼しくなる9月を第1回として計画。定員6組に対し6組の応募あり。地域でのチラシ配布だけでなく、facebookでの告知が効果的であったと考えられる。その後、会場である工房の整備作業に入ってしまう、工期が延長してしまったため木工体験ツアーの実施を見送らざるをえなかった。 ・製材所全体の整備 →プロジェクトの活動拠点として現場事務所を設置。活動が円滑になっただけでなく、地域の方の研修会会場、交流会会場としても活用されている。これは地域の活動団体である伊賀・島ヶ原おかみさんの会と協働体制を組んでいることが大きな理由であると考えられる。また、10月末より工房の整備に着手。当初年度末までに竣工の予定であったが、工期が延びてしまっている。2013年4月21日竣工予定。 ・木工製品の制作 →「端材の積極的な活用」「製材した板と簡単な工具のみでできる家具」をテーマとして木工製品を試作検討中。20製品以上の試作を実現。			
達成に向けて行った工夫 または 未達成の原因及び講じた改善策				
・スタッフの育成 →正規雇用のスタッフが不在のため、ノウハウの継承や継続的な育成を行っていく状況にある。そこで次の担当者に引き継いでいくためのマニュアルづくりや活動の記録方法の工夫が必要であると感じている。また、木工インストラクターとしてスタッフを育てる必要性も感じる事ができた。 ・プログラムの充実 →ツアーやイベントの定期的実施のため、予め複数のプログラムを用意しておくことが重要 ・地域との連携強化 →まずは認知度向上、続いて活動への参加につなげていくため、各種広報(がはらばん)の活用や告知方法についてしっかりと検討し直す必要がある。 ・独自製品の開発 →他団体との差別化を図るため、「製材所ならではの家具づくり」として参加者が気軽につくることができ、かつアイデアに富んだ作品の制作を常に心がける。				
現状の	評価ランク			
自己評価	<input type="checkbox"/> S:特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A:優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B:一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C:限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D:成果が得られなかった (該当する評価にチェックを付けてください)			